

講習科目名	【選択】 小学校教諭のための算数科教育法	実施期日	8月20日（金）
時間数	6時間	講習形態	講義・演習
主な受講対象者	小学校教諭・中学校・高等学校教諭	受入人数	30人
担当教員	加藤 卓（文学部教授）		
講習の到達目標 （成績評価の観点）	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生は、「全国学力・学習状況調査」の記述式問題（旧 B 問題）を深く理解することができる。 ・受講生は、記述式問題の正答率を向上させられる指導内容・指導方法を習得することができる。 		
講習の概要	<p>全国学力・学習状況調査の「割合」等の記述式問題（旧 B 問題）の到達度は、約 3 割程度と低く未だ改善されていない。これを改善するため、2 本数直線よりも高い到達度を実現するように開発されたボックス図を、講義・演習を通して学習する。また、最先端の研究成果である論述・記述に関する具体的指導方法を習得し、教育現場で自信を持って学習指導ができるようにし、算数の記述式文章問題の到達度を向上させることに活かす。</p>		
講習計画	<p>1 時限目：新学習指導要領における「割合」の位置づけについて、学習指導要領に基づき、系統・指導計画・指導内容についての理解を図る。また、海外での学習内容や指導方法を知って見識を広げる。（講義）</p> <p>2 時限目：「全国学力・学習状況調査」の記述式問題（旧 B 問題）の到達度の実態を知る。また、「割合と速さ」等の問題の解決方法についての認識を高める。（講義と演習）</p> <p>3 時限目：「割合と速さ」等の問題の演算構造から見た分類から「全国学力・学習状況調査」の記述式問題（旧 B 問題）の実像を認識し、教材研究力と教材作成力を高める。（演習）</p> <p>4 時限目：記述力の向上を可能にする指導計画と指導方法を考察し、効果的な指導方法を立案する。（演習）</p> <p>5 時限目：模擬授業を行い実際の指導方法を確認する。（演習）</p> <p>6 時限目：修了認定試験</p>		
評価方法	筆記試験		
教材・参考文献	<p>教材；プリント教材を当日配付する。</p> <p>参考文献；小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 算数編</p>		
受講者に望むこと	当日は長時間に渡って思考するので、前日に十分に睡眠をとること。		
備考			